

実践報告

平成 26 年度教員免許更新講習実践報告 専門科目バレーボール

The teacher's license update lecture practice report in 2014 The special subject volleyball—

佐藤 亮輔 杉山 仁志 飯田 周平*
Ryosuke Sato Hitoshi Sugiyama Shuhei Iida

*国土館大学

Abstract

A teacher's license update system was introduced from 2009 April 1st by the formation of the revision teacher's license law in June, 2007.

There was request from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and the Saitama Prefecture school board, too, in the science and it implemented a teacher's license update lecture with fifth time in this year.

In the this report, it implements a questionnaire survey for the volleyball which was implemented as the special subject from the inside at the update lecture which was set about this year(2014)science.

It had a purpose of getting a necessary data from the result in the future of implementing a lecture when. In the future, it thinks that the things such as "making an attendance object clear" become necessary with the step of whether or not "to examine contents" or the participant recruitment.

キーワード：教員免許、更新講習、バレーボール

Key words：Teacher's license, update lecture, volleyball

I はじめに

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制度が導入された。

教員免許更新講習は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

基本的な制度設計は、終了確認期限前の 2 年間に大学などが開設する 30 時間の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者に申請して終了確認を受けることが必要となる。

更新講習の受講対象者は、現職教員・教員採用内定者・臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者・過去に教員として勤務した経験のある者などである。

更新講習を開設できるのは、大学・指定教員養成機関・都道府県教育委員会などであり、担当するこ

とが出来る講師は、大学の教授・准教授・講師または、教育委員会の指導主事などである。

更新講習の内容は、教育の最新事項に関する事項（12 時間以上）と教科指導、生徒指導、その他の教育の充実に関する事項（18 時間以上）であり、受講者の専門や課題意識に応じて、開設する講習の中から選択することとなっている。¹⁾

武蔵丘短期大学（以下「本学」とする）では、文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で 5 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成 26 年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。

その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

II 調査方法

1. 調査対象

本学で開催した教員免許更新講習の中から、専門科目として設定したバレーボールを受講した 23 名。

2. 調査方法

更新講習終了後、受講生にアンケート用紙を配布した。

記入にあたっては、時間制限をせずに実施した。

講習内容 4 時限のうち、4 時限目の試験を除いた 3 時限分について、それぞれの時間毎に記入できるようアンケート用紙を作成した。

また、各項目に自由記述の欄を設け、受講生の自由な意見を引き出せるよう配慮した。

回答数は、受講生 23 名のうち 23 名（有効回答数 100%）であった。

Ⅲ 結果

1. 受講理由

本学で教員免許更新講習を受講した理由を下記の 5 項目で質問した。なお、複数回答を可とした。

- ①自宅から近いため
- ②受講科目に関心があったため
- ③現在の教育（指導）に役立つ内容だったため
- ④本学の教員と面識があったため
- ⑤その他（自由記述）

結果、13 名 13 名 6 名 11 名 3 名であった（図 1）。

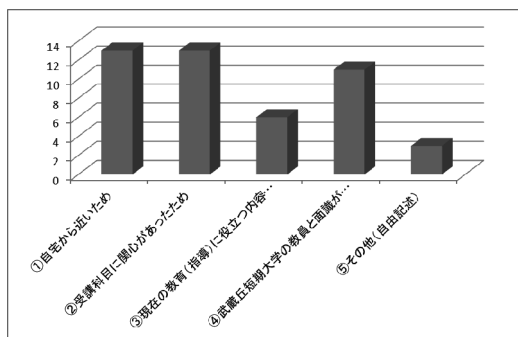


図 1 受講理由

なお、その他での記述には、以下のような内容が挙げられた。

- ・子どもが在学中で昨年の様子を聞いていたので。
- ・昼食の準備がある。5 日連続で講習を終了できる。
- ・勤務校が貴校と高大連携をしており、参加に興味

をもったため。であった。

2. 講習内容

講習内容をそれぞれの時限毎に下記の 5 項目で質問した。なお、項目選択の理由を自由記述とした。

1) 1 限目（講義）

主な内容：指導者の資質及び指導方法

- とてもよかった
- よかった
- あまりよくなかった
- よくなかった
- その他（自由記述）

結果、14 名 9 名 0 名 0 名 0 名であった（図 2）。

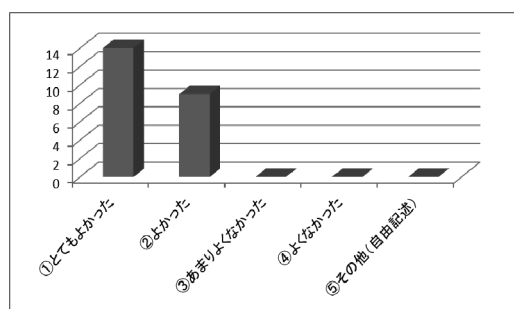


図 2 講習内容（1 時限講義）

を選択した理由としては、「共感した」が最も多く 7 名であった。次いで「指導について再確認できた」「今後の活動の中で活かしたいと思った」「話の内容が興味深かった」「参考になった」などであった。

を選択した理由では、「感銘を受けた」「話術が上手だった」などであった。

2) 2 限目（実習・実技）

主な内容：レシーブ、トス、スパイク（3 段攻撃）における練習方法

- とてもよかった
- よかった
- あまりよくなかった
- よくなかった
- その他（自由記述）

結果、12 名 11 名 0 名 0 名 0 名であった（図 3）。

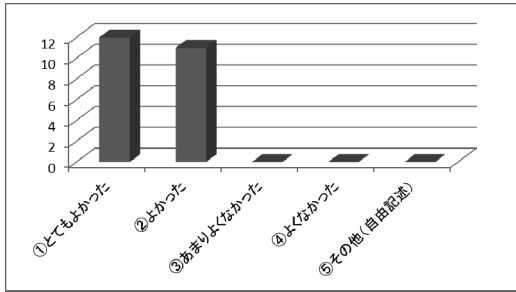


図3 講習内容(2時限実習実技)

を選択した理由としては、「学生が丁寧な対応でフォローしてくれた」が最も多く4名。次いで「授業の参考になった」が2名。他には「教え子もいて大変楽しくできた」「指導の再確認ができた」「先生、学生の能力が高く指導がうまかった」などであった。

を選択した理由では、「学生が実際に動きを見せてくれて一緒に楽しくできた」が最も多く8名。次いで「参考になった」が2名。他には「指導の再確認ができた」などであった。

3) 3限目(講義)

主な内容: スパイクスイングにおける理論

とてもよかった

よかった

あまりよくなかった

よくなかった

その他(自由記述)

結果、12名 11名 0名 0名 0名であった(図4)。

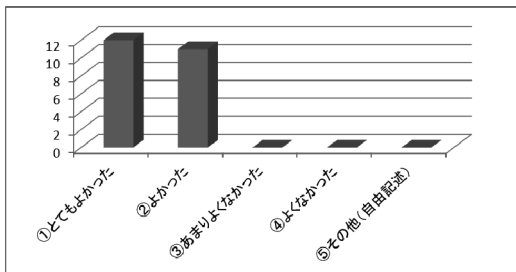


図4 講習内容(3時限講義)

を選択した理由としては、「今後の指導に活かせるものであった」「自分が担当している種目にも参考になった」「技能構成が分かりやすかった」が最も多

く3名。次いで「大変勉強になった」が2名。他には「映像があり分かりやすかった」などであった。

を選択した理由では、「大変新鮮に感じた」が最も多く3名。次いで「今後の指導に活かせるものであった」が2名。他には「考えるきっかけとなった」「ジャンプについても聞きたかった」「大変参考になった」「大変勉強になった」「近年の特に外国人選手の映像も見られたら良かった」などであった。

3. 講習内容

今回の教員免許更新講習(専門科目バレーボール)を受講して、全体的にどのような感想を持ったかを自由回答で質問した。回答の内容は以下のとおりである。

- ・個人的には2コマ実技でも良かったです。前半は初心者向け(授業中心に)後半は中～上級者(クラブや部活動指導)で行えると、現場でより生かせるかと思います。

- ・バレーボールは、必ずどこ学校でもやると思います。部活のレベルではなく、本当にできない生徒の指導方法を講義してもいいと思う。サーブが全然届かない、サーブが当たらない、ボールコントロールができない、ボールにうまく反応できないなど。

- ・運動が苦手な生徒や運動経験の浅い生徒に対しての導入方法がわかるとさらに現場で役に立つと思いました。

- ・バレーの実技講習なのですが、バレーを選択した私は、専門ではありません。講習の時に、専門ではない教員グループを作り、専門の学生をつけたりすれば良かったのではないと感じました。

- ・本日の実技内容は、体育系大学等に進学を考えている生徒には良いと思う。しかし、そのような生徒は10%もないので、もう少しレベルを落とした内容もあれば良かったのかなと思います。講習の補助をして頂いたバレーボール部の皆さん、暑い中お世話になりました。

- ・これから学校に帰って、バレーボールの授業をやるにあたり参考になり良かった。ありがとうございました。

- ・バレーボールの経験、実技、知識など勉強になることがたくさんありました。知識のなかで実技を利用して教えてもらいたいこともありました。

・なかなかむずかしいと思いますが、バレーボールができない生徒への指導、アプローチの仕方、できない生徒への具体的な言葉かけ（ワンポイントアドバイス）ヒントがたくさんほしいと思う。暑い中、一日ありがとうございました。

・悪いフォームはなかなか直らない、良いフォームはなかなか身につかない、サーブレシーブで手を振ってしまうこととか、スイングでひじが下がる等々の直し方をもっと講習にいていただけると、もっと良かったと思います。体育館のアリーナにも冷房を入れていただけると助かります。

・大変楽しく講習ができました。

・バレーボールの技術だけではなく、コーチングの部分、実技の部分、動作分析の部分と、多面的に講習をしていただき、大変参考になりました。

・身体が動かせる状態だったら絶対にやりたいと思いましたし、バレーボールの楽しさを感じるお話をたくさん聞かせて頂きました。

足が悪いということを手から降り歩いている状況を見て判断して下さり、駐車場を移動させて頂きました。目配り気配りの良さを感じました。

昼食がとてもおいしかったです。残りの4日間がたのしみです。食事を用意して下さった方々の思いを感じさせて頂きました。今日一日お世話になりました。

・最も暑い時期に、いろいろと配慮頂き、シニア層にとっては大変助かりました。実技では思わず童心に帰ってやっていました。

・ありがとうございました。

・川合先生のバレーボールの御指導の話は大変参考になりました。

Ⅳ 考察

アンケートから、質問項目1の本学で受講した理由では、「自宅から近いため」と「受講科目に関心があったため」が最も多い結果であった。「自宅から近い」については、中学・高校の教員が夏休み中であっても激務であり、遠方まで研修に行く時間がないため、自分の母校等より自宅に近い本学を選んだことが推察される。次に「受講科目に関心があったため」については、多くの教員が専門で行ってきた内容以外の担当となり、指導にあたっての知識、

技能を高めたいと考えていることが推察される。

「本学教員と面識があったため」については、その他を選択した回答の記述において、同僚の紹介が数名あった。つまり、直接的でなくとも本学の教員が、中学・高校の教員と何らかの関わりがあることが講習先に本学を選択した要因となったことが考えられる。

質問項目2の1)講義(1限目、指導者の資質及びその指導方法)では、「とてもよかった」が最も多く、次いで「よかった」の順であった。項目選択の理由から、講義内容が受講者にとって有益であったことが読み取れる。また、バレーボールを専門としていない指導者からも同様の意見であったことから、指導者として参考になる内容であったと思われる。

質問項目2の2)実習実技(レシーブ、トス、スパイク(3段攻撃))では、「学生が丁寧な対応でフォローしてくれた」といった意見が多く、とてもよかった よかったのみの意見であった。これは、本学学生をデモンストレーターとして、受講者に目で見て分かるようにしたことが評価につながったと思われる。また、「授業の参考になった」「教え子もいて大変楽しくできた」「指導の再確認ができた」「先生、学生の能力が高く指導がうまかった」など、今年度の講習では比較的参考になったと考える。しかし、1件だけ「小学生指導に携わっている人達の初心者への指導もしてほしかった」という意見があった。教員免許更新講習の性格上、様々な分野(高等学校や中学校、小学校)で教員をされている方が同時に受講しているので、専門的な指導法だけではなく、体育の授業(特に出来ない生徒)としての指導法を中心にしてほしいと感じた受講者も今回実際にいた。このような意見が、同様の講習を続けていけば多くなっていくことも考えられるため、今後の課題として検討していく必要性を感じた。

質問項目2の3)講義(スパイクスイングにおける理論)では、とてもよかった よかったのみの意見であった。これは、専門科目としてバレーボールを設定したこともあり、専門的な指導を行う上で必要な知識として、スパイクスイングに焦点を絞って行ったことが上記の結果となったのだと考えられる。また、学生時代は専門的に研究等を行うことが

できるが、教員として現場の仕事に就いたことでその時間を作れない人も多いと思われる。今回の講習がきっかけとなり、その必要性を感じてもらえれば、講習を行った意義があったと考える。

質問項目 3 (講習全体) では、自由記述とし、多くの意見が寄せられた。受講生それぞれの視点によって言い方は違うが、大半は受講内容が良かったという内容であった。しかし反対に、「初心者や出来ない生徒への指導もしてほしかった」という意見があった。今後、本学において教員免許更新講習を実施していくにあたり、これまでと同様の方法で実施すれば、また同じ意見が出ると思われる。このような意見に対処していくことも今後の検討課題である。

V まとめ

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制が導入された。

本学では文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で 5 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度 (平成 26 年度) 本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

受講内容では、「とてもよかった」、「よかった」が多くの意見であった。しかし、今年度の講習では昨年度の講習に比べ、「初心者や出来ない生徒への指導もしてほしかった」などの要望が多かった。

今後、本学で教員免許更新講習を行っていくうえで、「講習内容の検討を行う」か、あるいは受講者募集の段階で「受講対象者を明確にする」といったことが必要になると考えられる。

また、「講習内容の検討」を行ううえにおいても、専門科目においては、「専門性を強調し、高度の内容を実施していく」のか、「現場の授業での初心者向けの内容を中心とする」のかを考える必要がある。その「現場の授業での初心者向けの内容」の講習を行うにしても、「中学校」が対象なのか「高等学校」が対象なのかといったことも検討していく必要がある

と考えられる。

そして、本報告を含めてアンケート調査を過去 4 回実施しており、来年度も実施を予定し、各年度における比較・検討及び、追跡調査も必要と考える。

本報告では、以上の点を検討する必要性を示唆する資料となった。

【参考文献】

- 1) 文部科学省ホームページ：教員免許更新講習